

18歳新星 自然体強み

ボートをこぎ始めてわずか3年のホープが、ロンドン五輪出場に迫っている。韓国の忠州で開催中の五輪アジア予選に、女子シングルスカルの18歳、榊原春奈（愛知・旭丘高出、早大）は「五輪という大会の重さがよく分かってい

ボートアジア予選

ないが、逆にそれを強みにしたい」と自然体で挑む。

182センチ、73キログラムの体格を生かした大きなこぎが特長だ。26日の予選は出場16選手のトップタイムで準決勝に進出。29日の決勝5位以内で決まる五輪出場へ視界は良好だ。

榊原、五輪入賞レベル

両親とも国際大会の経験がある元ボート選手だが、中学時代は合唱部だった。高校で「何となく」競技を始めると一気に上達。軽量級が多い日本勢が苦手とするこの種目で、昨年の世界ジュニア選手権7位と健闘した。

こぎ力を陸上で測定する機器の数値は、既に五輪入賞レベル。日本代表の阿部肇（ドコーチ）は「まだオールの動きか方に甘さがあるが、水をつかんで押す部分はしっかりとできている」と評価。穏やかな口調の榊原は「自分の力を出すだけ。緊張してもしょうがない」と大器の雰囲気漂わせている。（忠州・共同）



練習を終えボートを運ぶ、女子シングルスカルの榊原春奈＝忠州で（共同）